

阪神・淡路震災復興計画最終3か年推進プログラム  
フォローアップ委員会（第4回） 議事概要

1. 日 時 平成15年10月13日（月） 14：15～15：30
2. 場 所 兵庫県公館 3階 第2会議室
3. 出席者 端信行委員長、市川禮子委員、加藤恵正委員、角野幸博委員、  
河内厚郎委員、小林郁雄委員、佐藤友美子委員、中島克元委員、  
鳴海邦碩委員、松原一郎委員  
県）齋藤副知事、古西総括部長、藤原部参事、井上復興企画課長ほか

4. 主な意見

既存の特別養護老人ホームが災害時における高齢者や障害者など災害弱者の避難所として有効に機能するように充実することが必要である。

SCSについては、高齢者の見守りだけでなく、地域を包み込むコミュニティづくりへの支援の役割をもっと前面に出すべきである。

子どもの体験活動の促進については、子どもの自主性や自発性をもっと引き出すような取り組みが求められる。

商店街等の活性化については、TMOが自立できるような行政からの事業委託を進めるなどの取り組みも必要である。

国内外企業の立地促進やツーリズムについては、世界的な競争にさらされる分野であり、戦略的な取り組みが求められる。また、商店街等の振興については、チャレンジする商店街を積極的に支援するという姿勢が重要である。

空き地の活用を進めていくためには、まちづくり技術センターの充実などが求められる。